



失敗の数だけ 成長できる

3月8日(水)、第75回和歌山市立東和中学校卒業証書授与式を挙りました。卒業生には、哲学者のカントが「他者に共感し、他者の幸せのために尽くすことが、自分の幸せにつながる」と考えたことを紹介し、幸せになるポイントは「温かい心」を持つことだと伝えました。卒業生は、中学校の3年間、毎日の学習、スポーツ・芸術活動や人間関係など、うまくいかないことの連続だったと思います。そのうまくいかないことから逃げず、うまくいかないことを大切に、困ったときは仲間に助けを求め、仲間の求めに丁寧に応じることを繰り返して「共同体感覚」を育んできました。友だち、保護者、後輩、先生、あなたのそばにいる人はみんなあなたの仲間です。仲間とともに学び続けてきた卒業生は、幸せになるポイントである「他者に共感し、他者の幸せに尽くす力」すなわち「温かい心」が備え、幸せになる力を身につけました。

1・2年生のみなさんは、中学校を卒業するまでの残りの期間で、どんな成長をみせてくれるでしょうか。いまの自分は好きですか。他者の気持ちに気づき、共感できていますか。他者の幸せのために尽くし、自分の幸せにつなげていますか。この一年で、うまくいったこともあれば、たくさんの失敗もあったみなさんに次のメッセージを届けます。

僕はプロになってから928回も三振していて
打たれたヒットの数は647で
ホームランは59本打たれ
しかも失点した数は全部で281
チャンスで506回凡退して
ケガで692日間も投げられなくて
試合に負けて泣いた日もたくさんあったし
二刀流が無理だと言われたことは数えきれない
でも二刀流が無理だと思ったことは一度もない
失敗の数だけ 僕たちは成長できる



このメッセージは、日本チームが優勝したWBC(世界野球)をテレビで観ていると流れてきたCMのものです。これは、大谷翔平選手のことを伝えています。その最後に映し出された言葉は「次の世界へ」。大谷選手は、別のインタビューでは次のように答えています。

自分の意識が高いとは思いませんが、運は良かったと思います。僕は良いチームメートに恵まれました。全国大会や世界大会への出場、またそこで勝つという結果に繋がるかどうか、モチベーションに大きくかかわってきます。それは自分一人では左右できないことで、良い監督やコーチ、チームメートがいるかどうかで勝つ確率は変わってきます。

ただ、周りを自分の思うように変えたいとは全く思いません。他の人を変えるのはなかなか難しいし、「自分のために変えてくれ」というのも変な話なので。できるのは自分で自分を変えることだと思いますが、正直、自分のことでさえ変えるのは簡単ではなくて、自分が自分のポジションでできることをやっていくしかありません。

1・2年生のみなさんは、まもなくそれぞれ2・3年生へと学年を進めます。過去を変えることはできません。まだ未来は決まっていません。わかっていることは、未来は今のあなたとつながっているということです。どのような未来を手に入れるか。どのようなあなたになりたいか。それは、今のあなた次第です。大谷選手が言うように「他の人を変えるのはなかなか難しいし、「自分のために変えてくれ」というのも変な話」なのでしょう。「できるのは自分で自分を変えること」。でも、「自分のことでさえ変えるのは簡単ではなく」それでも自分の「できることをやっていくしかありません」。

あなたの「次の世界へ」。あなたのたくさんの失敗を成長につなげるのは、あなたです。

<今後の予定>

3/24(金)	終業式	学活	5月分献立表配布
31(金)	離任式		
4/7(金)	新任式	入学式準備	
10(月)	入学式		
11(火)	始業式	対面式	



<保護者のみなさまへ>

2022年度も、本校教育活動にご理解ご協力いただき、深く感謝申し上げます。次年度も教職員一丸となって精一杯取り組んでまいりますので、どうぞ、よろしく願いいたします。